施工説明書

メーカー管理用です。

TOTO

密結形フラッシュタンク

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

必ず実施

工事店様へ

水圧不足やフィルターの詰まりがあると吐水、止水不良のおそれがあります。

■設置前に水圧を測定ください。
■試運転後、給水フィルターの掃除をしてください。

※最低必要水圧に満たない場合
低水圧用止水栓THF36R（別売品）とセットすると0.05MPa(19L／分流動時)以上であれば設置可能になります。

水たまり面の低下・水量変更について

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。
※低下すると汚物付着の原因になります。
水たまり面が低下した場合と、自治体によって洗浄水量の規制がある場合は、P.5～P.8の設定変更にて対応してください。

給水管のエア抜きについて

新築・改修工事後や、水道断水復旧後は、給水配管中に空気の混入が考えられますので、空気抜き弁を取り付けるなど、必ず空気が管内に残らないように配慮してください。

安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

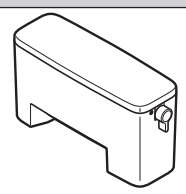
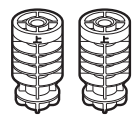
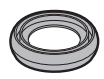
⃠	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	❗	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

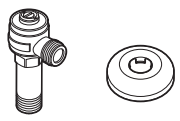
⚠注意

禁止	**陶器に強い力や衝撃を与えない** 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	**設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する** 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

フラッシュタンク	固定ナット	極低頭ボルト	パッキン
 (1個)	 (2個)	(2個)	 (1個)

止水栓	施工説明書	取扱説明書	開閉工具
 (1セット) ※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付けてください。	(1部)	(1部) ※設置工事完了後、お客様にお渡しください。	(1個)

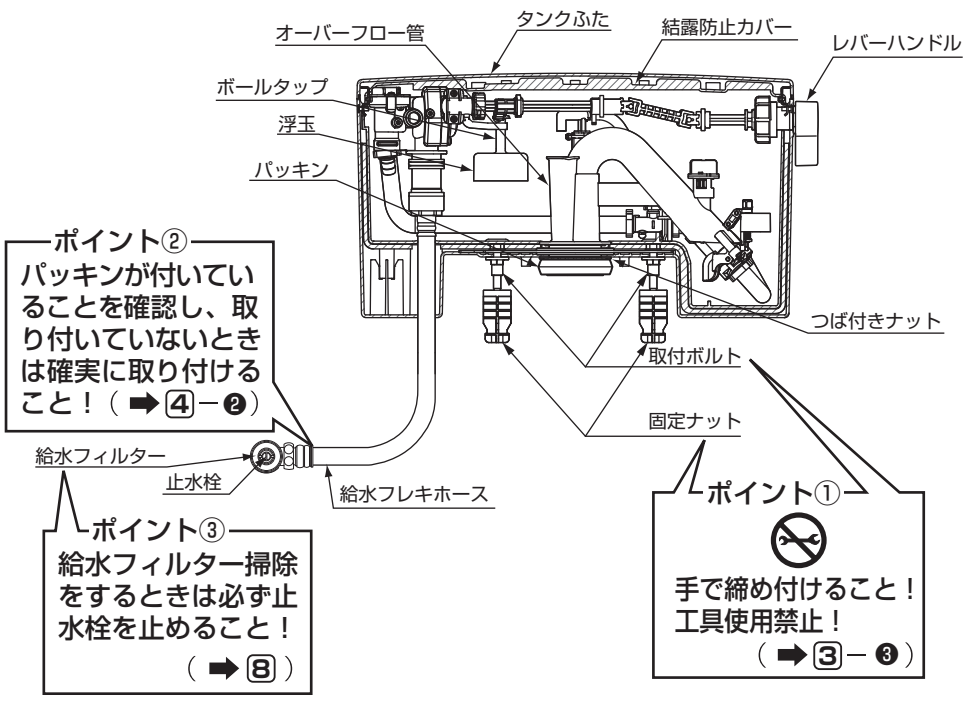
使用工具（別途ご準備ください）

六角棒スパナ（呼び径2）

各部のなまえと施工のポイント

工具使用禁止

止水栓・レバーハンドル以外は工具は必要ありません！
手で締め付けてください。



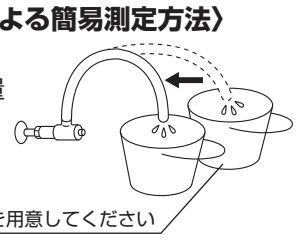
※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

■設置前に水圧を測定ください。

最低必要水圧：0.07MPa（19L／分流動時）が必要です。この水圧を確保できないと**汚物を排出しないことや止水不良になること**がありますので注意してください。最高水圧は0.75MPaです。
注1：洗面所や浴室など他の水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と流量が必要です。
注2：配管は呼び径13以上をご使用ください。（上記水圧と流量の確保のため）

〈バケツによる簡易測定方法〉

10秒間水を入れて水量を計る



既設止水栓で、下表の水量があれば同梱の止水栓で対応できます。

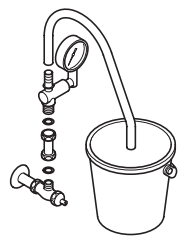
既設止水栓の種類	水量（10秒間）
アングル形	4.5L以上　※1
ストレート形	4.0L以上　※1

※1 上表の水量に足りなくても、アングル形で4.3L以上またはストレート形で3.8L以上の水量があれば、低水圧用止水栓THF36R（別売品）で設置可能になります。

〈水圧測定専用治具による測定方法〉

HH15003（別売品）を利用する。
（HH15003に止水栓は含まれておりません）

＜既設の便器がフラッシュバルブ式の場合＞
上記HH15003および耐水圧測定用治具接続アダプターHH07112をご使用ください。



※品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

給水位置の確認

⚠注意

禁止	**給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない** 結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。
必ず実行	**止水栓は横壁面・床面から40mm以上離して取り付ける** すき間が小さいとメンテナンスに必要な空間が確保できなくなります。

・右給水の場合や給水ホースの不足がある場合、長さ違いの給水ホースをご購入ください。

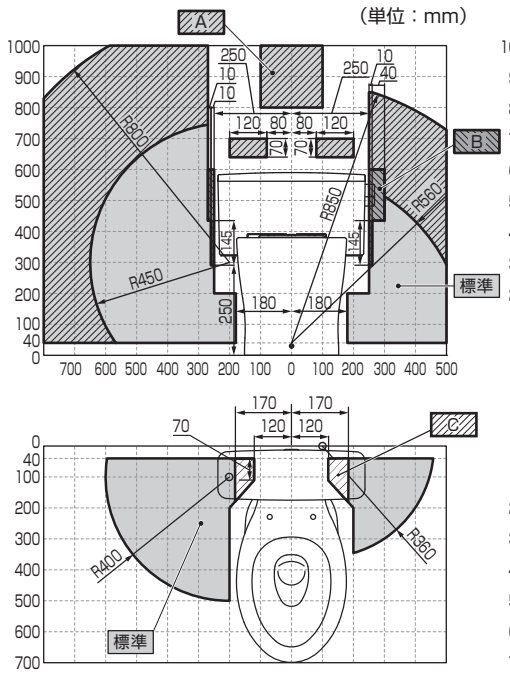
標準 の範囲が標準です。同梱の給水ホースをご使用ください。

A の範囲の場合は、給水延長用フレキホース(400mm)HH08034を使用してください。

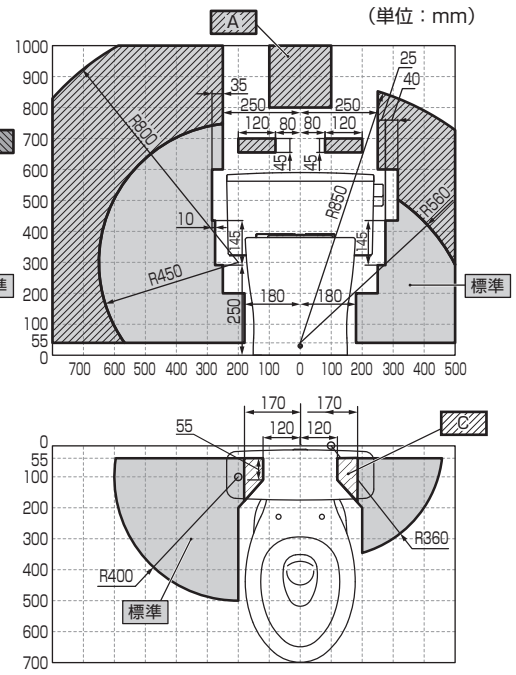
※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

C の範囲は、床排水の便器（CS497BD、BCD、BLCD）のみ対応可能です。
（壁排水の便器CS497BP、BPC、BPLCは便器と給水管が干渉するため設置不可となります。）

【本商品同梱の止水栓を使用した場合】



【低水圧用止水栓を使用した場合】



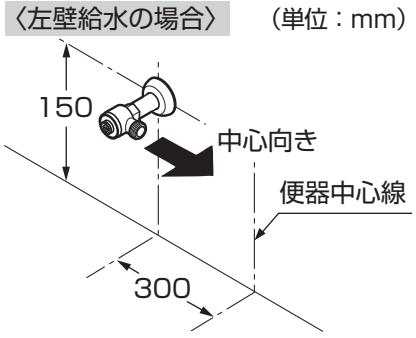
標準 標準施工範囲
A 延長用フレキホース施工範囲
B ストレート止水栓交換 便器前出し60mm施工範囲

＜壁 A ＞
FVおよびC14・21系と隅付ロータンクS536、S570、S670などがセットされているトイレからの取替の場合には、延長用フレキホースをご使用ください。
＜壁右給水R560～R850の範囲＞
延長用フレキホースをご使用ください。
＜壁左給水R450～R800の範囲＞
延長用フレキホースをご使用ください。
＜壁 B ＞
既設の給水ホース位置が上図 B にある場合には、取替用止水栓品番 THF37を別途手配いただくことになります。
※ B：タンクとの干渉を避けるために、タンクの背面と壁との距離を約60mm以上確保してください。

取付方法

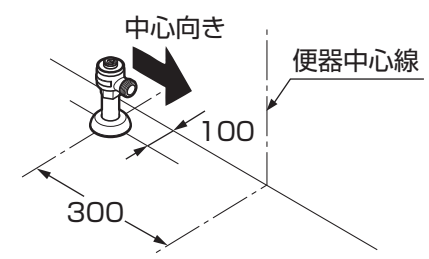
1 止水栓の向き

〈左壁給水の場合〉 （単位：mm）



〈右壁給水の場合〉
右給水の場合は、便器中心線に対し、左壁給水と対称になるように施工してください。

〈左床給水の場合〉 （単位：mm）



〈右床給水の場合〉
右給水の場合は、便器中心線に対し、左床給水と対称になるように施工してください。

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる吐水、止水不良を起こすおそれがあります。

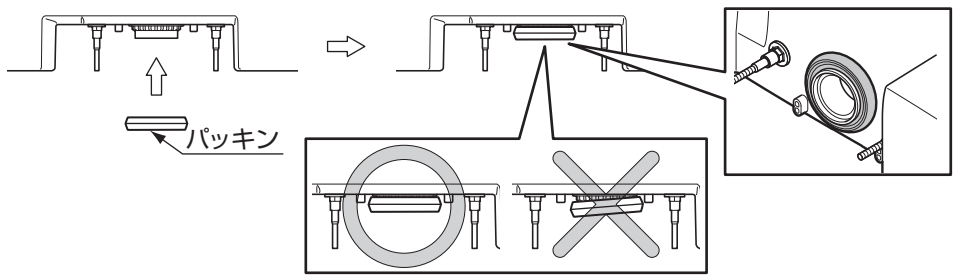
※器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
※壁給水の場合、給水フレキホースが無理なく取り付くように、止水栓の接続口の向きを調節してください。
※ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

2 便器の取り付け

排水ソケットに同梱の施工説明書に沿って、便器を取り付ける。

3 フラッシュタンクの取り付け

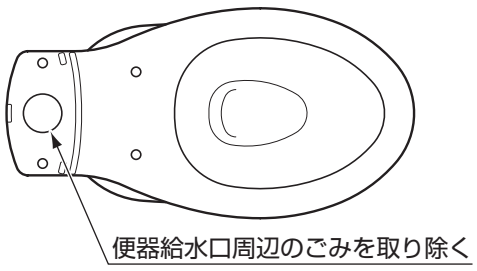
❶フラッシュタンクにパッキンを取り付ける。
※パッキンを湿らせると、取り付けやすくなります。



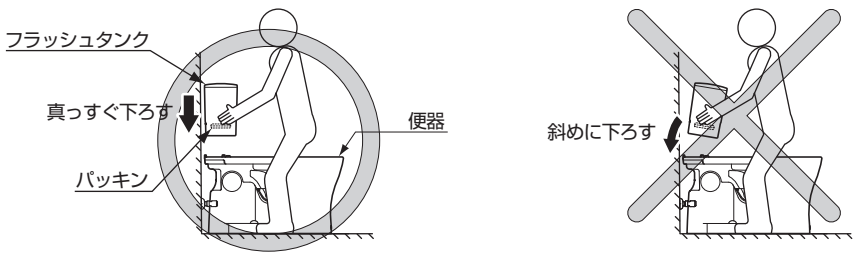
⚠注意

必ず実行	**●同梱のパッキンを上図のように取り付ける** **●パッキンはタンクの底に当たるまで、確実に挿入する** 正しく取り付けないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

❷フラッシュタンクを便器に取り付ける。
便器給水口周辺のごみなどを完全に取り除いたあと、フラッシュタンクを便器に取り付けてください。



下図のようにフラッシュタンクを真っすぐ下ろすように便器に取り付けると確実にシールできます。
※パッキンが落下した場合は再度タンクに取り付けてください。



⚠注意

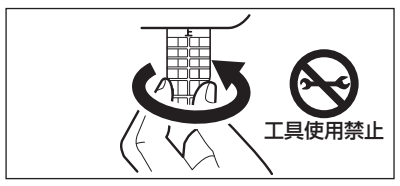
禁止	**フラッシュタンクを斜めに下ろさない** パッキンが正常に取り付かずシール不良となり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	**パッキンおよび給水口周辺のごみを取り除く** 水漏れするおそれがあります。

❸固定ナットでフラッシュタンクを固定する。

⚠注意

必ず実行	**左右の固定ナットを確実に締める** 左右の固定ナットがしっかり締まっていないと、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

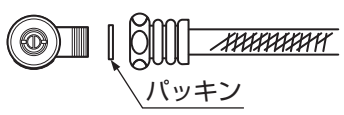
固定ナットを手締めで回らなくなるまでかたく締め付けます。
※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。



注意 固定ナットを締め付けるときは必ず手で行うこと。工具を使用すると破損するおそれがあります。

4 給水フレキホースと止水栓の接続

❶給水フレキホースにねじれ、折れなどのないように接続する。
❷パッキンを右図の位置に必ず組み込む。

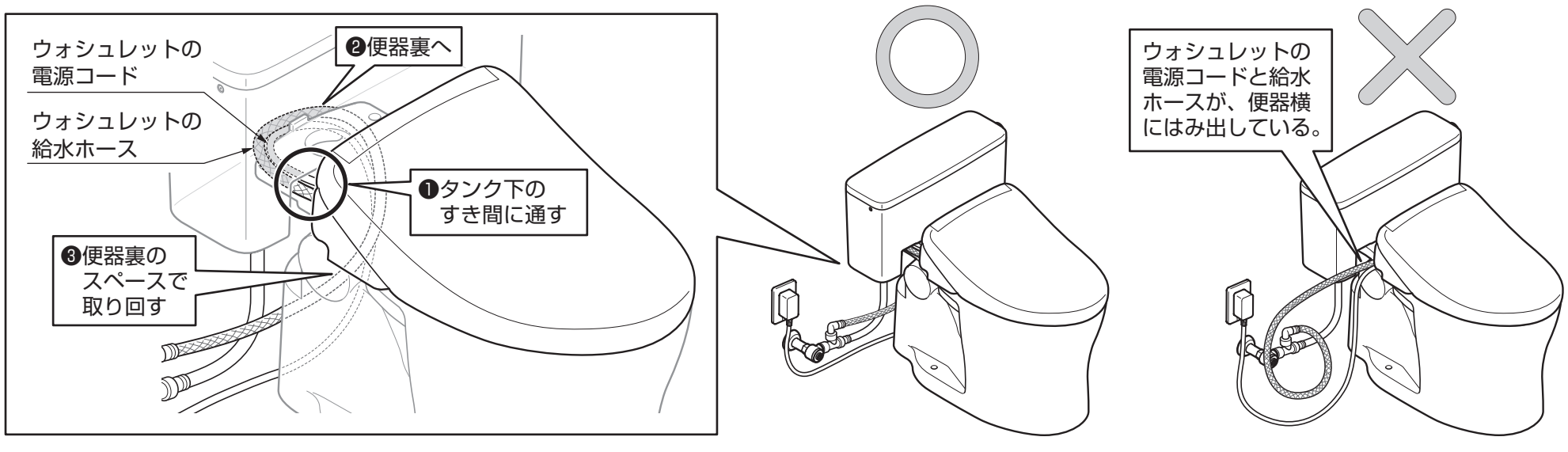


5 ウォシュレット本体の取り付け（ウォシュレットを取り付ける場合のみ）

・ウォシュレットの取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

〈ホースの取り回し方〉

ウォシュレットの電源コードと給水ホースは、タンクの下を通して便器裏で取り回してください。



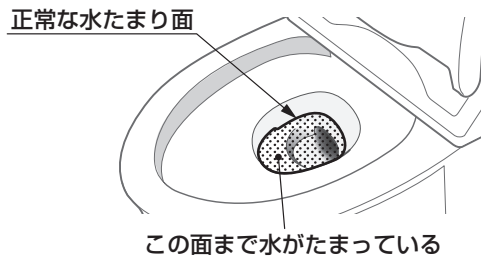
6 取り付け後の確認

・止水栓を開けて大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認する。
・2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れや洗浄状態などの異常がないことを確認する。
※洗浄した際、約30秒程度水が流れます。止水不良ではありません。
・タンク内に水が満水にならないと洗浄できません。

正常な状態

設定変更は不要です。

（設定を行うと、洗浄不良になる場合があります）

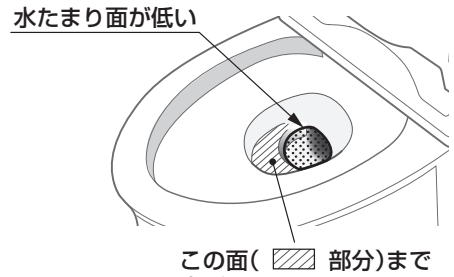


水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。

（水たまり面を正常な状態にすることができます）

設定変更の仕方は「9 水たまり面が低下する場合の対応方法」をご確認ください。



〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

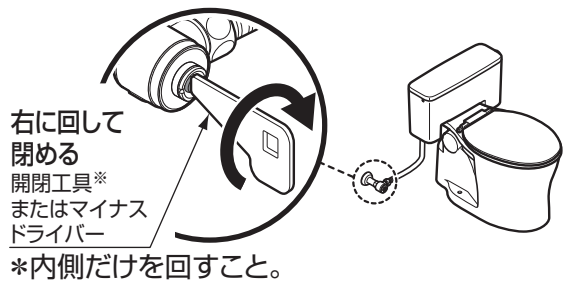
※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

7 止水位の確認および調整

❶止水栓を閉めて給水を止める。

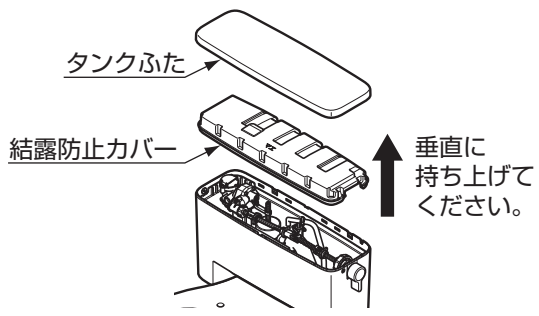
※付属の開閉工具をご使用ください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



❷ふた固定金具を外し、タンクふたと結露防止カバーを外す。

使用工具

六角棒スパナ
（呼び径2）



注　意

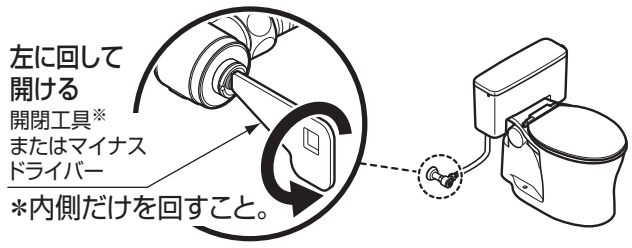
タンクふた、タンク本体を床に置かれる際は、養生シートの上に置いてください。タンクふた、タンク本体に傷がつくおそれがあります。

❸止水位の位置を確認する。

7 止水位の確認および調整（つづき）

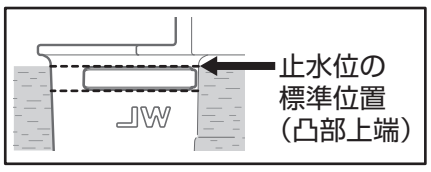
❹止水位の調整を行う。（止水位が標準位置凸部上端にない場合）

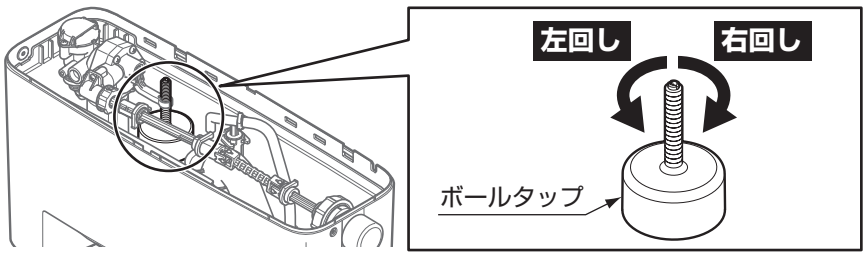
（1）止水栓を開く。



（2）ボールタップを回し、止水位を標準位置に確実にあわせる。

止水位を
上げる場合：上方より見て**左回し**
下げる場合：上方より見て**右回し**

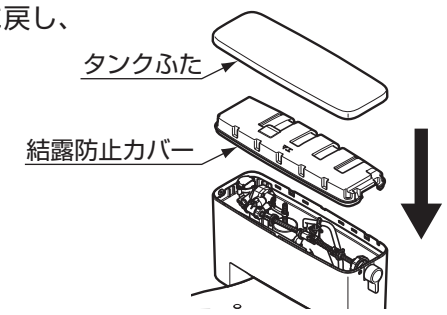




❺取り付け完了後の確認をする。

- 止水栓が開いていることを確認し、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- 正常に洗浄するか確認する。
- **洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。**

❻結露防止カバーとタンクふたを元に戻し、ふた固定金具を取り付ける。



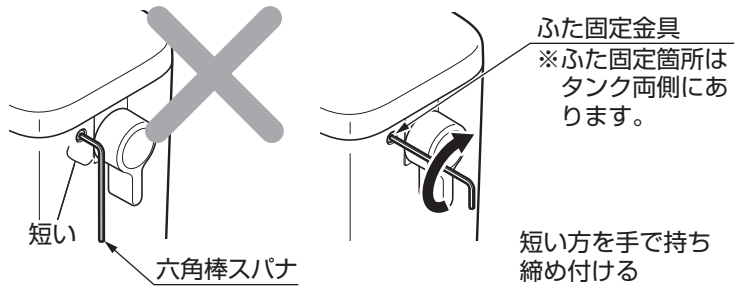
⚠注意

必ず実行

ねじの締め付け過ぎに注意する
締め付け過ぎると、フラッシュタンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

注　意

極低頭ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズレるおそれがあります。



試運転後の確認事項

8 給水フィルターの掃除

給水フィルターの掃除をしてください。
フィルターの詰まりがあると吐水、止水不良のおそれがあります。

⚠注意

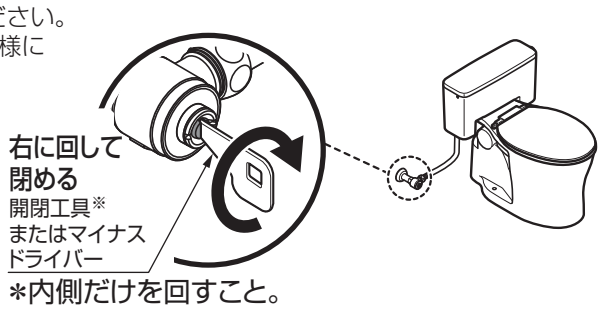
必ず実行

給水フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る
手順を守らないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

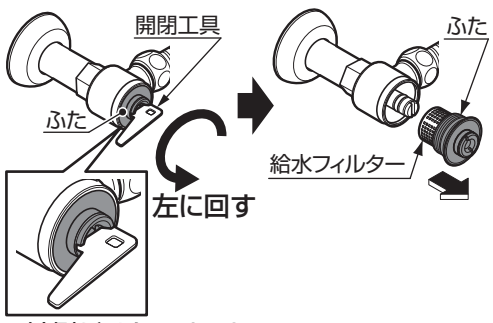
給水フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めタンク内の水を流してから行う
水圧で給水フィルターが飛び出すことがあります。

給水フィルターは確実に締める
確実に締めないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

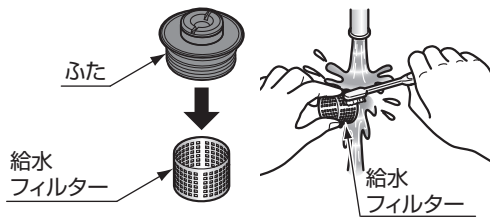
❶止水栓を閉めて給水を止める。
※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



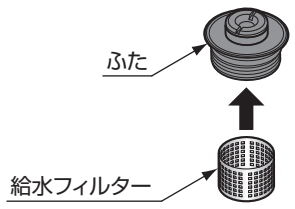
❷給水フィルターのふたを開閉工具で開けて、給水フィルターを取り出す。



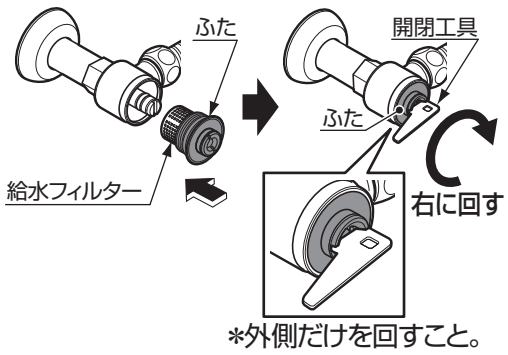
❸給水フィルターをふたから取り外し、掃除をする。
※小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。



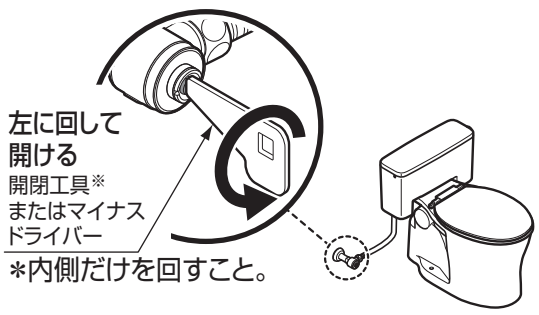
❹給水フィルターをふたに取り付ける。



❺給水フィルターを元の位置に取り付け、ふたを開閉工具で締め付ける。



❻止水栓を開ける。
※止水栓および配管接続部から水漏れしていないか確認してください。



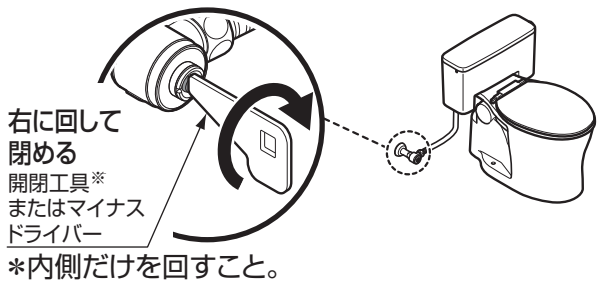
※試運転後、タンク内に異物がないことを確認してください。
異物があると吐水、止水不良のおそれがあります。

裏面につづく➡

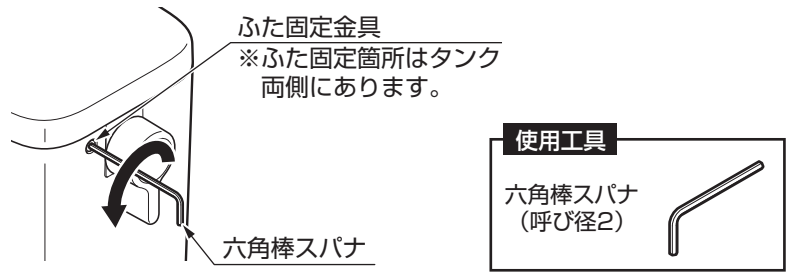
⑨ 水たまり面が低下する場合の対応方法

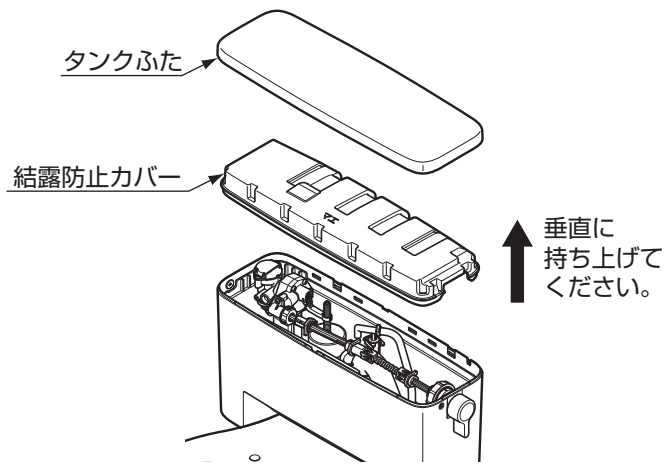
❶止水栓を閉めて給水を止める。

※付属の開閉工具をご使用ください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

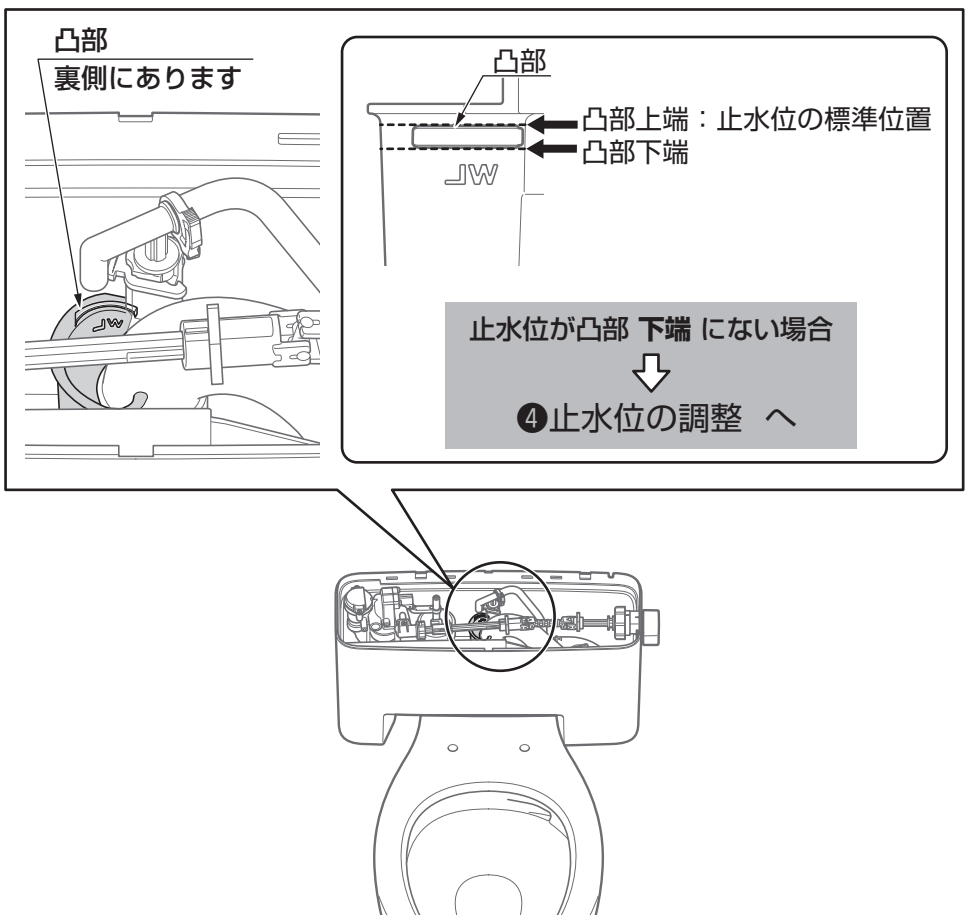


❷ふた固定金具を外し、タンクふたと結露防止カバーを外す。



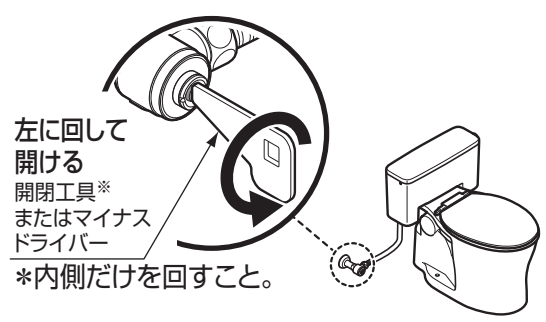


❸止水位の位置を確認する。



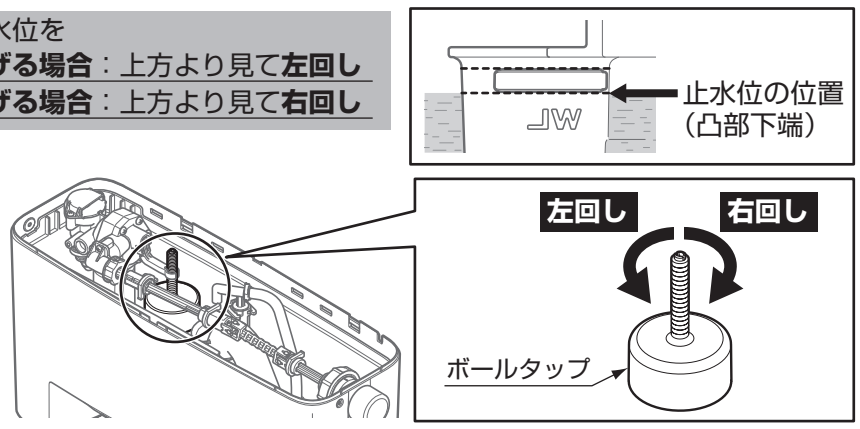
❹止水位の調整を行う。（止水位が凸部下端にない場合）

（1）止水栓を開く。



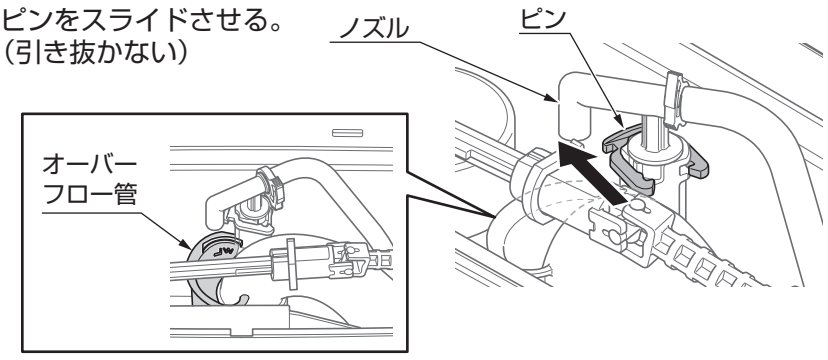
（2）ボールタップを回し、止水位を凸部下端に確実にあわせる。

止水位を
上げる場合：上方より見て**左回し**
下げる場合：上方より見て**右回し**

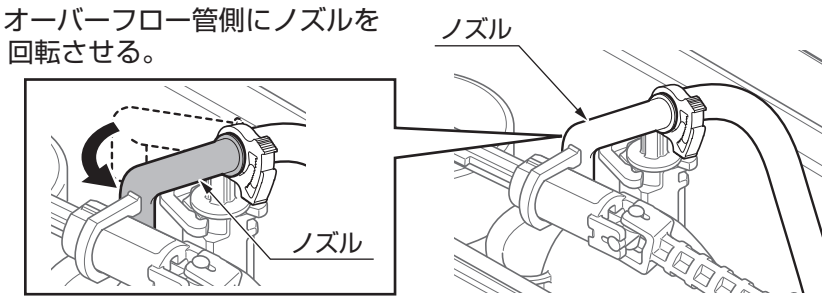


❺ノズルから出る水をオーバーフロー管の中に入れるため、ノズルの向きを変える。

（1）ピンをスライドさせる。
（引き抜かない）

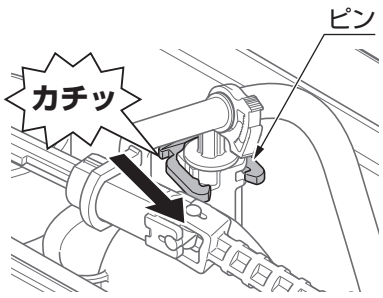


（2）オーバーフロー管側にノズルを回転させる。



（3）ピンをスライドさせ、固定する。

※ピンは「カチッ」と音がするまで取り付けてください。

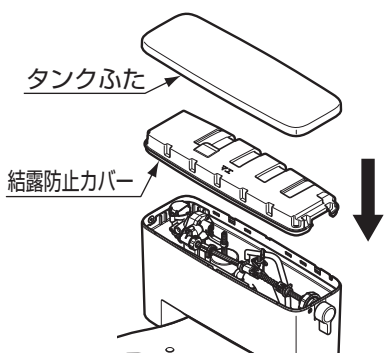


上記の方法により、低い水たまり面に水が補給され（約400mL程度）、正常な状態に戻ります。

❻取り付け完了後の確認をする。

- 止水栓が開いていることを確認し、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
- 正常に洗浄するか確認する。
- **洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。**

❼結露防止カバーとタンクふたを元に戻し、ふた固定金具を取り付ける。



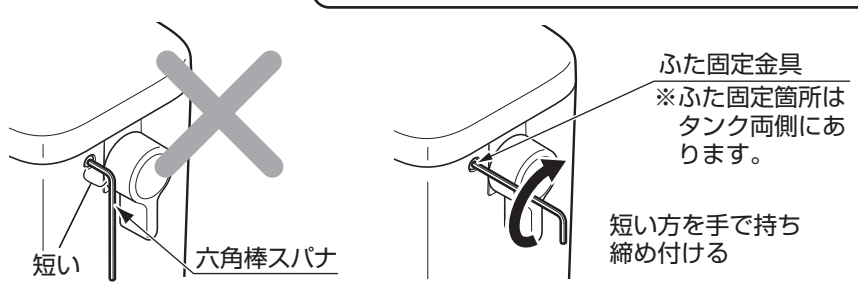
⚠注意

必ず実行

ねじの締め付け過ぎに注意する
締め付け過ぎると、フラッシュタンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

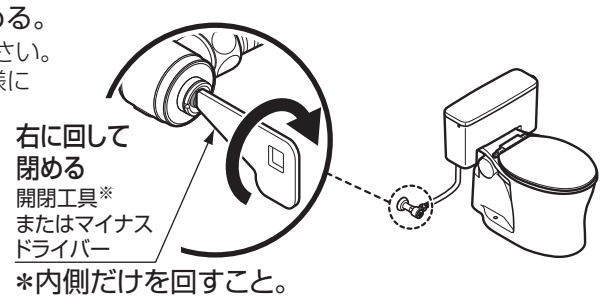
注 意

極低頭ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズレるおそれがあります。

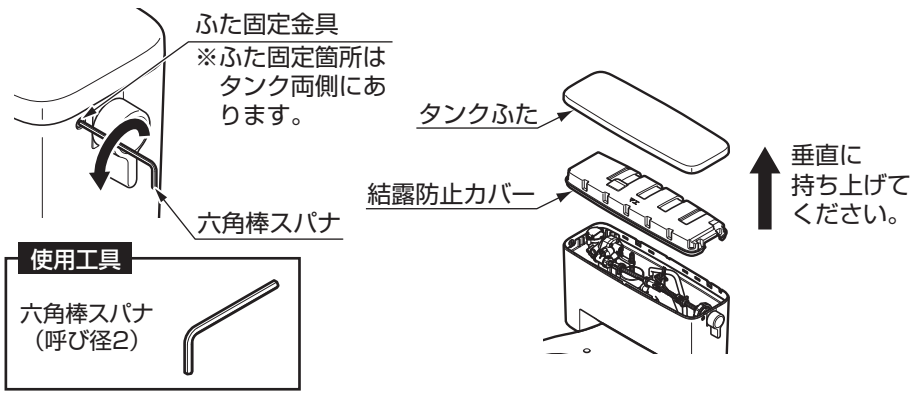


⑩ 大洗浄6L、小洗浄5L仕様への切替方法

❶止水栓を閉めて給水を止める。
※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



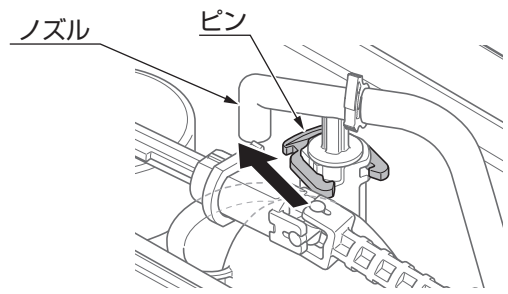
❷ふた固定金具を外し、タンクふたと結露防止カバーを外す。



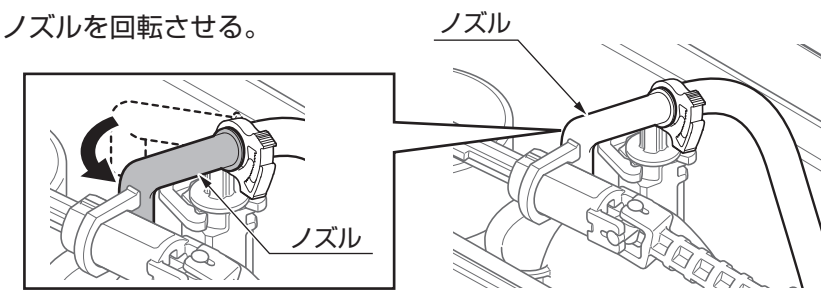
❸止水位の位置を調整する。

調整方法は⑦−❹に従って作業してください。

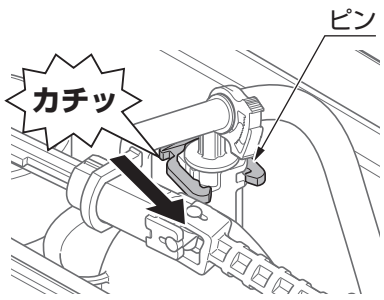
❹ノズルの向きを変える。
（1）ピンをスライドさせる。
（引き抜かない）



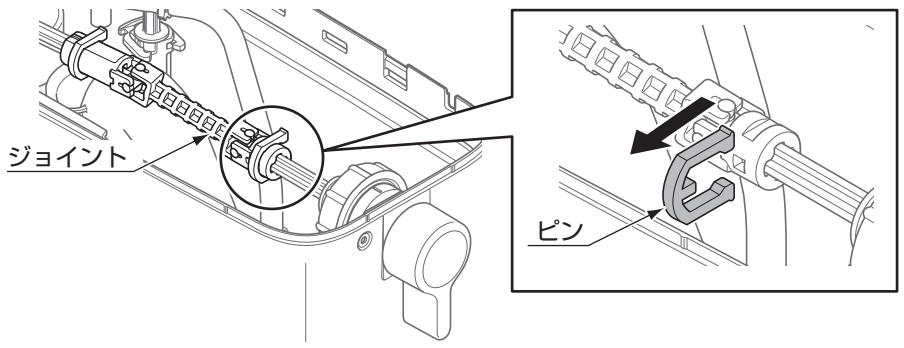
（2）ノズルを回転させる。



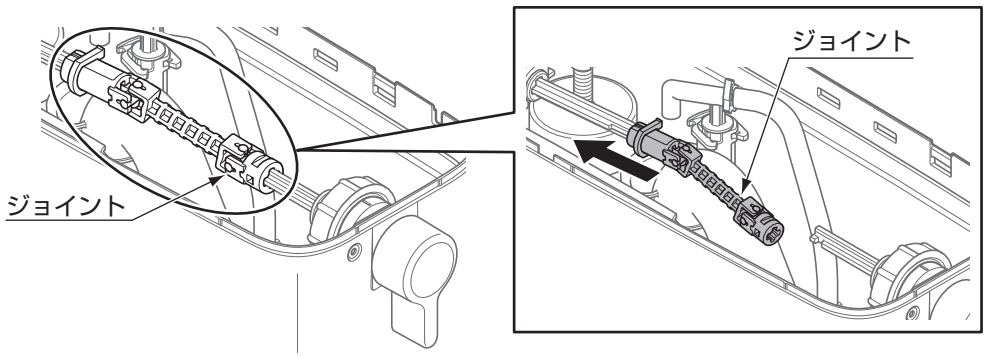
（3）ピンをスライドさせ、固定する。
※ピンは「カチッ」と音がするまで取り付けてください。



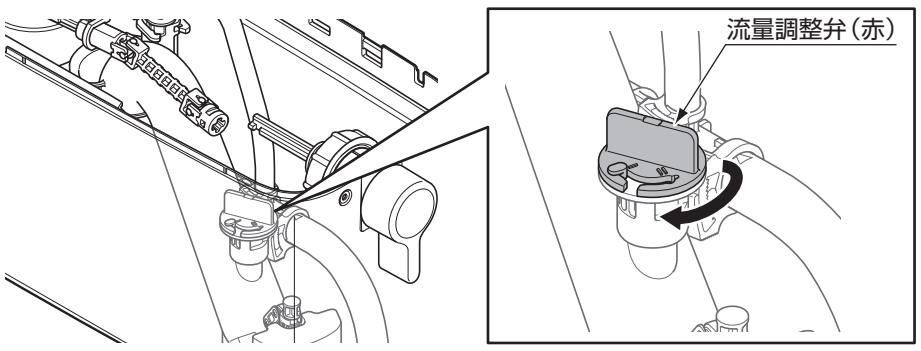
❺流量調整弁（赤）の調整を行う。
（1）ジョイントの“ピン”を取り外す。



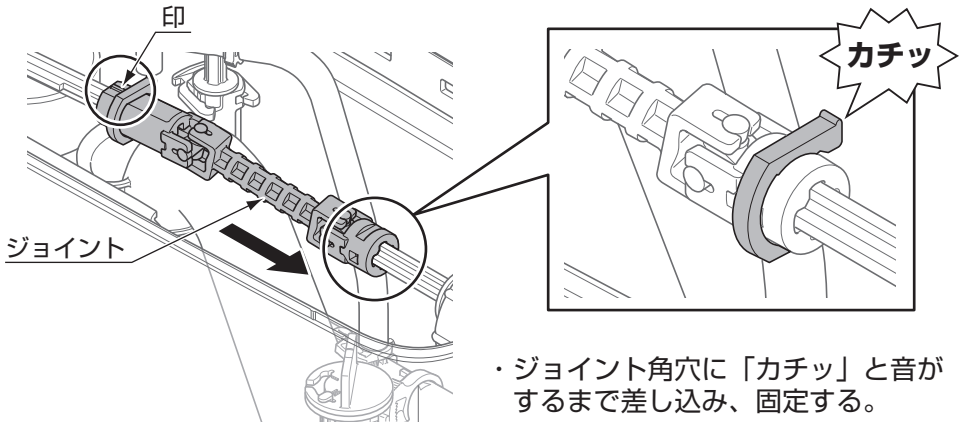
（2）ジョイントを取り外す。



（3）流量調整弁（赤）を右に回転させる。



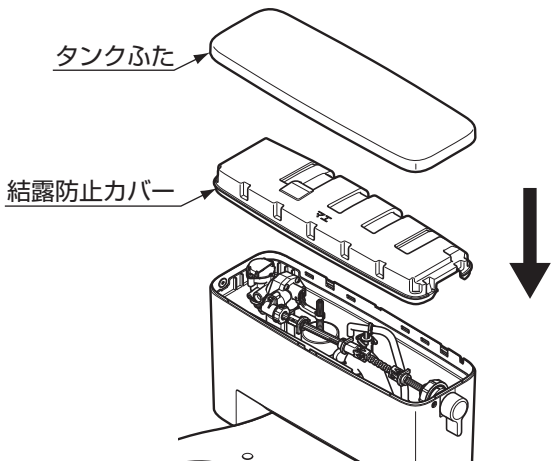
（4）ジョイントを（1）～（2）と逆の手順で取り付ける。
・ジョイント奥の印を上にして差し込む。



・ジョイント角穴に「カチッ」と音がするまで差し込み、固定する。

❻取り付け完了後の確認をする。
・止水栓が開いていることを確認し、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
・正常に洗浄するか確認する。
・**洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。**

❼結露防止カバーとタンクふたを元に戻し、ふた固定金具を取り付ける。

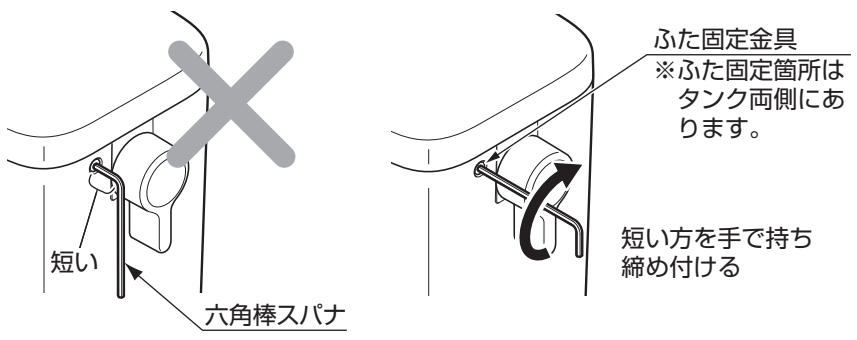


⚠注意

必ず実行

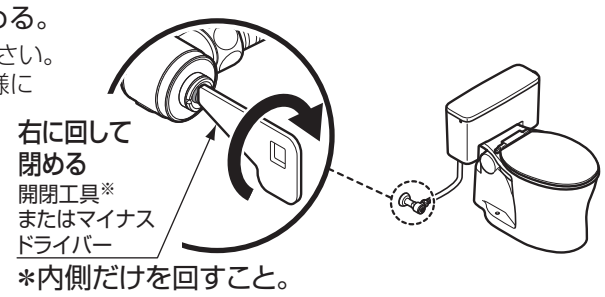
ねじの締め付け過ぎに注意する
締め付け過ぎると、フラッシュタンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

注 意
極低頭ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズレるおそれがあります。

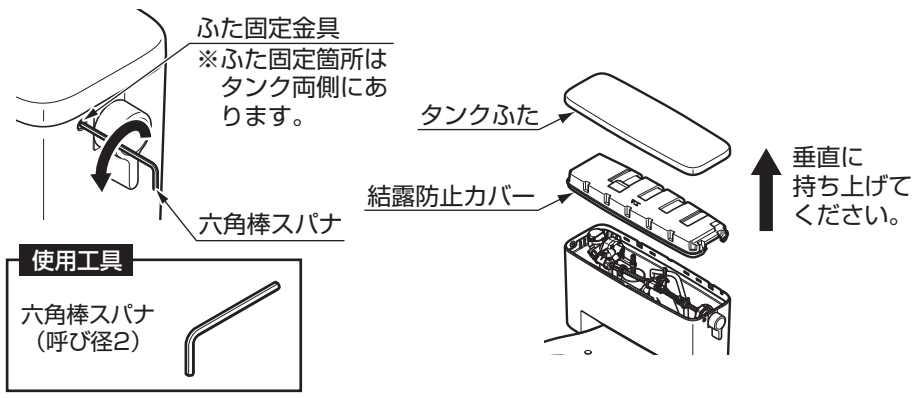


11 大洗浄8L、小洗浄6.5L仕様への切替方法

❶止水栓を閉めて給水を止める。
※付属の開閉工具をご使用ください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。



❷ふた固定金具を外し、タンクふたと結露防止カバーを外す。

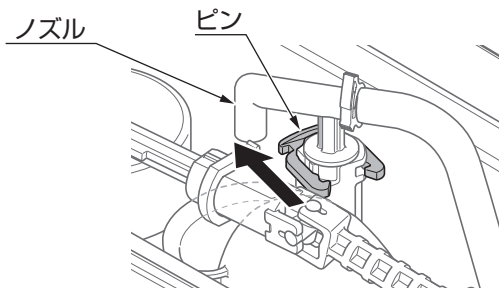


❸止水位の位置を調整する。

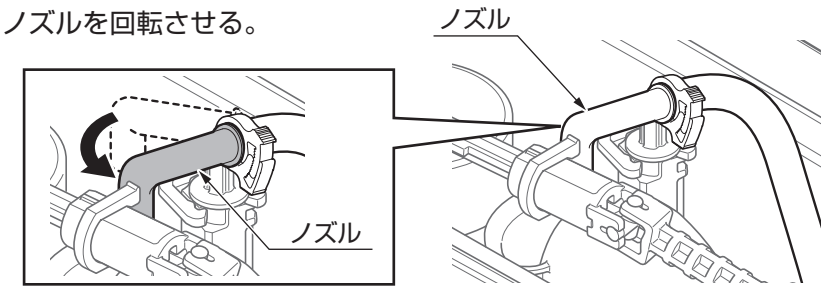
調整方法は⑦－❹に従って作業してください。

❹ノズルの向きを変える。

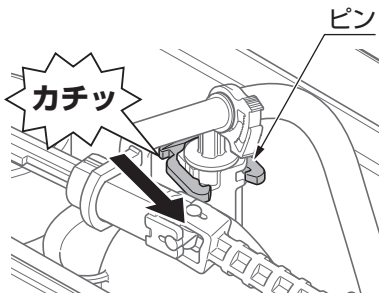
（1）ピンをスライドさせる。
（引き抜かない）



（2）ノズルを回転させる。

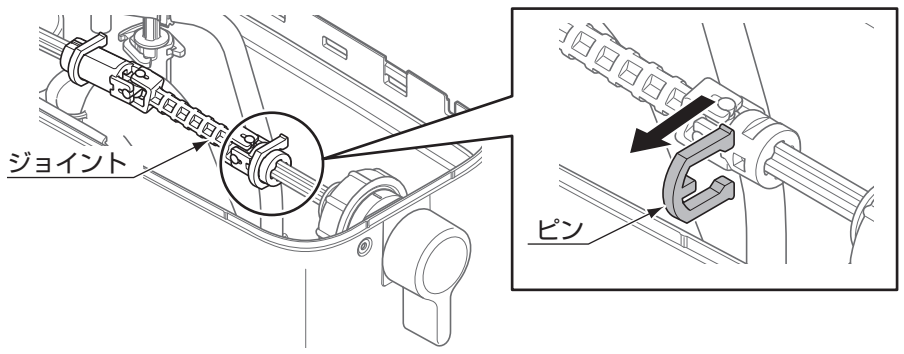


（3）ピンをスライドさせ、固定する。
※ピンは「カチッ」と音がするまで取り付けてください。

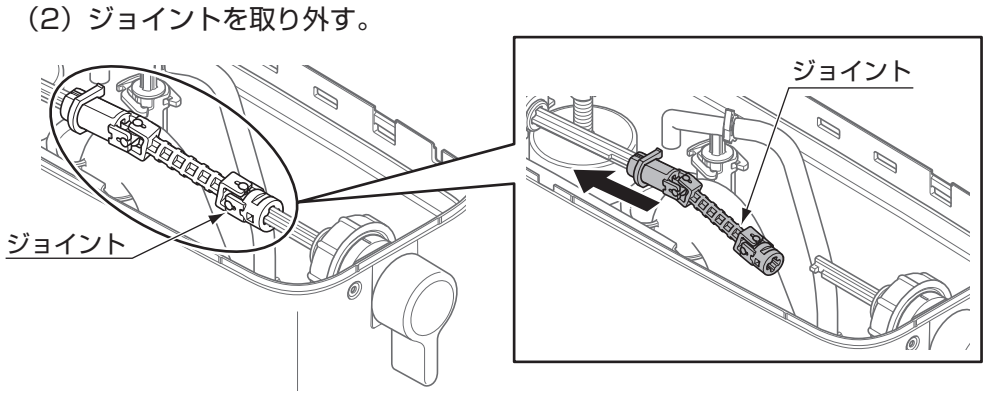


❺流量調整弁（赤）と切替弁（赤）の調整を行う。

（1）ジョイントの“ピン”を取り外す。

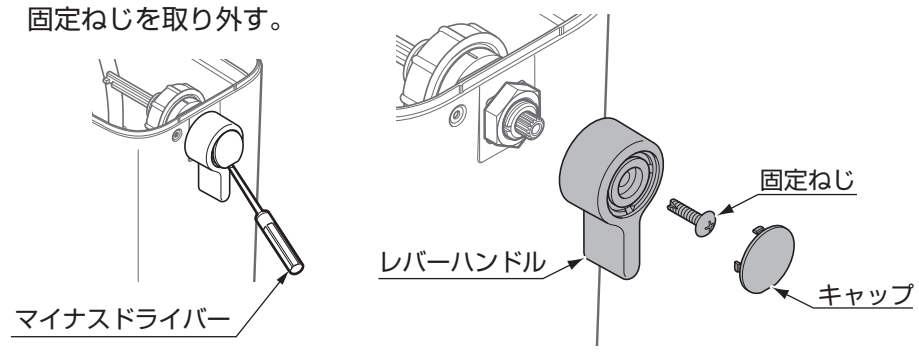


（2）ジョイントを取り外す。

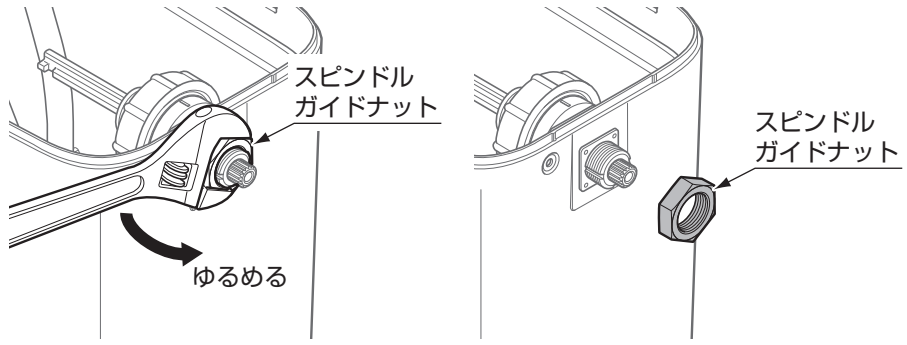


（3）レバーハンドルとスピンドルガイドを取り外す。

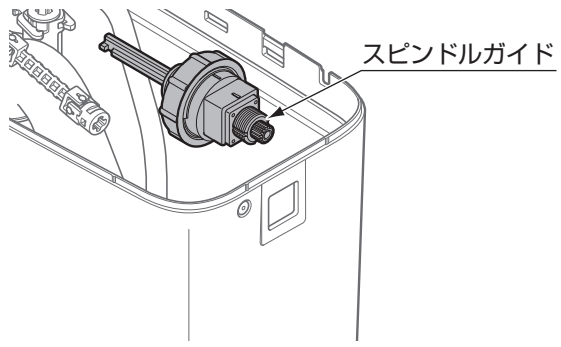
①レバーハンドルのキャップを取り外し、
固定ねじを取り外す。



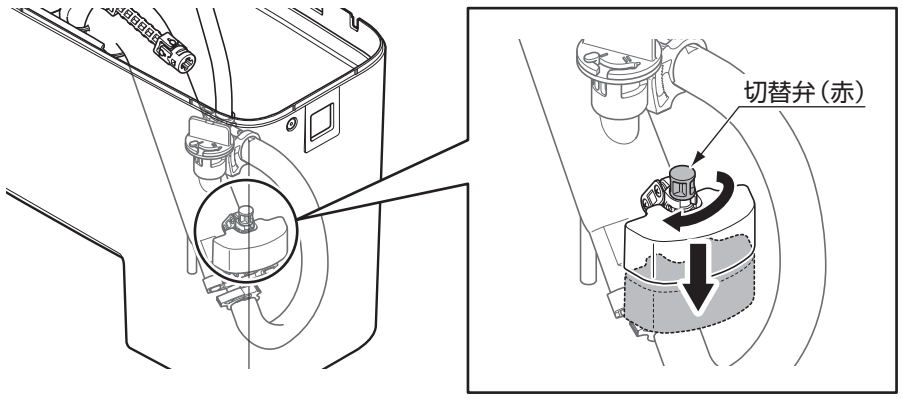
②スピンドルガイドナットを取り外す。



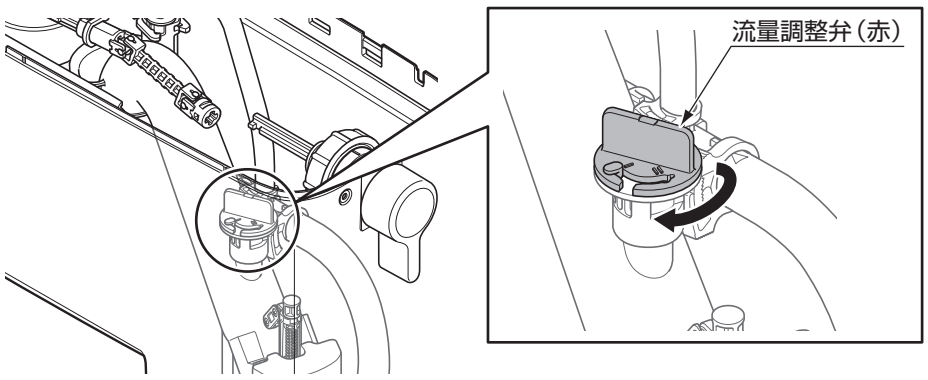
③スピンドルガイドを取り外す。



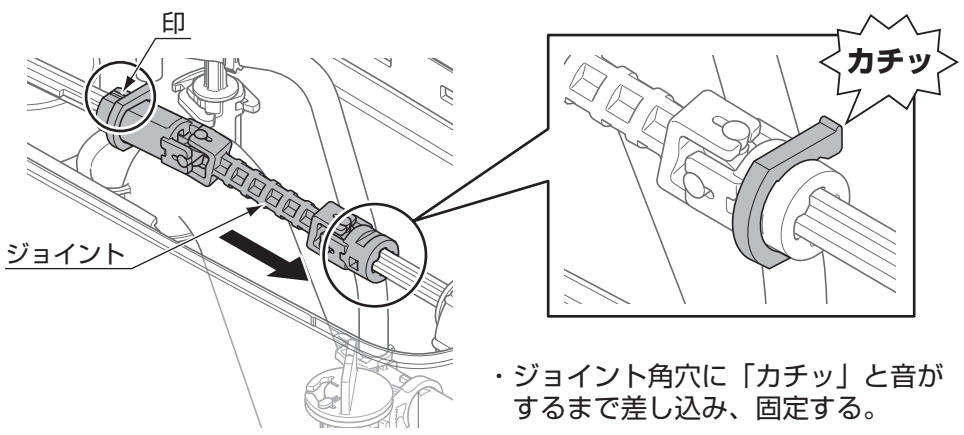
（4）切替弁（赤）を下に当たるまで右に回転させる。



（5）流量調整弁（赤）を右に回転させる。



（6）ジョイントとレバーハンドルを（1）～（3）と逆の手順で取り付ける。
・ジョイント奥の印を上にして差し込む。



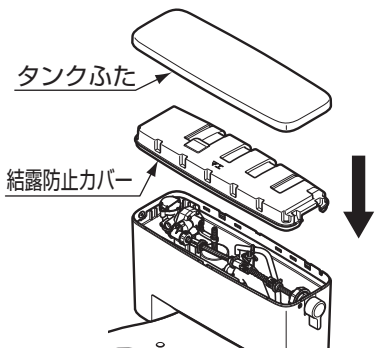
・ジョイント角穴に「カチッ」と音がするまで差し込み、固定する。

11 大洗浄8L、小洗浄6.5L仕様への切替方法（つづき）

❻取り付け完了後の確認をする。

・止水栓が開いていることを確認し、2～3度洗浄させて、便器・タンク内外への水漏れなどの異常がないことを確認する。
・正常に洗浄するか確認する。
・**洗浄終了時、水たまり面が低下していないことを確認する。**

❼結露防止カバーとタンクふたを元に戻し、ふた固定金具を取り付ける。



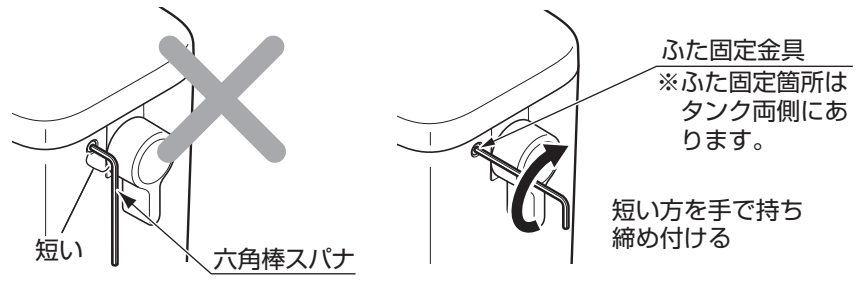
⚠注意

必ず実行

ねじの締め付け過ぎに注意する
締め付け過ぎると、フラッシュタンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

注　意

極低頭ボルトの締め付けは、両側均一になるように締め付けてください。片側だけを締め付けるとタンクふたがズレるおそれがあります。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。